

【参考資料】

■『フュージョン・プレイス』の主な特長

・クラウドによるサービス提供

『フュージョン・プレイス』は、オンプレミスに加えてクラウドサービスとしても提供されます。運用基盤として Amazon Web Services(AWS)を採用しています。クラウドならではのコストメリットはもちろん、サービスの組み合わせの柔軟性、セキュリティ確保など、経営管理システムに適したインフラを提供しています。

・リアルタイム多次元データベース

『フュージョン・プレイス』はリアルタイム多次元データベースを核とする、予算編成・実績管理業務等を支援する経営管理システムです。『フュージョン・プレイス』の多次元データベースは、リアルタイムで更新／集計することが可能です。複数バージョンのデータを保持することができますので、基幹システムのデータを取り込んで提供するだけでなく、データ修正と確認の繰り返しを伴う予算編成や決算予測などの業務にも適しています。『フュージョン・プレイス』ではこれらの処理を、独自に開発したアーキテクチャーを用いてメモリ内で瞬時に行いますので、高いパフォーマンスを実現しています。

・リアルタイム通貨換算・連結相殺消去

『フュージョン・プレイス』はリアルタイムに多通貨間の換算を行うことができます。外国通貨から日本円への換算のみならず、アメリカドルからユーロへの換算等、外国通貨から外国通貨への換算結果をデータ入力と同時にすべての組織で参照することができます。

また、連結相殺消去のロジックが組めますので、事業別、地域別、製品別、顧客別といった様々な視点で連結数値を瞬時に作成することができます。

・レイアウト自由のエクセル双方向連携

予算編成・実績管理システムでは、エクセルと多次元データベースとの連携の容易さが重要です。

『フュージョン・プレイス』の「Excel-Link」アドインツールは、ユーザが作成したいレイアウトのシートそのものに多次元データベース上のデータを落とし込むことができます。同様に、ユーザが作成した自由なレイアウトのシート上のデータを多次元データベースに転送することが可能です。

・分散／統合型経営管理システムを実現する「ワークフロー×ワークスペース」

『フュージョン・プレイス』は、複数種類の計画資料などをそれぞれに適した多段階の承認経路で収集可能なワークフロー機能を備えています。さらに、各部署は、「ワークスペース」を与えられて、提出／承認前の作業データを、あたかもデータベース全体の一部であるかのように自由

に集計し前年値など対比することができます。この2つの特長の組合せにより、プライベートな作業環境を各部署に提供しながら、最終的にはワークフローを通じて確定データをひとつに統合する「分散／統合型経営管理システム」を実現することができます。

・ドリルダウン型の体系的帳票／画面システム構築ツール

予算編成・実績管理業務では、集計確認などのために様々な帳票が必要です。『フュージョン・プレイス』では、サマリー表を起点に、部署別／科目別／月別など様々なレイアウトを取り混ぜながら、順次ドリルダウンできる帳票／画面体系をプログラムレスで構築できます。予算入力画面でさえ、当年実績表示欄をクリックすると該当項目に対する伝票明細が表示されるという具合に、単なる入力用ではなくユーザが予算を検討するプロセスそのものを支援するようにデザインすることが可能です。

※ 「fusion_place3.0 premium」 リリース

『フュージョン・プレイス無償版』リリースに伴い、有償版についても、ユーザインターフェース等を改善し、「fusion_place premium3.0」としてリリースいたします。

【セミナー開催の告知】

来る2014年10月24日(金)午後、弊社において企業の経営管理業務の責任者・推進者を対象に「来期を見据えた予算管理」セミナーを開催します。予算管理の今日的課題、これからの予算管理のあるべき姿を検討するとともに、来期に向け予算管理システムを整備していく手順を具体的にご紹介いたします。

セミナー開催案内 URL (<http://www.fusions.co.jp/seminars/2014-sem2/>)

■代表者プロフィール

村瀬 司 (株式会社フュージョンズ 代表取締役社長)

名古屋大学大学院修了後、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア、その後、アーサー・アンダーセン・ビジネスコンサルティング部門に移籍)に入社、数々の業務改革・システム構築プロジェクトに携わるとともに、パートナー(共同出資経営者)として、戦略・業務改革チームをリード。KPMG FAS を経て株式会社フュージョンズを設立。